

事業名	農業の日等啓発事業費		
細事業名	山梨県農業まつり実施費等負担金	財務コード	047401
担当部課室	農政 部 農政総務 課 農政企画	担当 (内線)	5077

事業の概要

実施期間	始期 S29 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助 (山梨県農業まつり実行委員会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民、農業者	農業・農村の果たす役割や農畜産物の重要性等について広く理解が深まっている	本県産農畜産物の消費拡大と農業・農村の活性化
事業の内容 主にH25年度	<p>事業概要 「農業の日(10月15日)」を中心に、街頭啓発や式典、まつりの広場等で構成する「山梨県農業まつり」を実施する。 街頭啓発 台風26号の接近に伴い中止(例年年1回(10月)) 甲府駅前「農業の日」及び農業への理解促進のための啓発パンフレット配布 等 農産物の福祉施設への贈呈 133箇所 本県の伝統的な特産果実であるブドウ「甲州種」福祉施設へ贈呈 式典 1回 農水産業功績者表彰及び農業を育てるヤングカップル表彰等 農業者のつどい 実行委員会構成団体が開催(各種共進会、各種コンクール等 10事業) まつりの広場 小瀬スポーツ公園において「ふるさと特産品フェア」として、「県産品フェア」、「商工まつり」、「林業まつり」と同時開催 農畜産物の展示即売等 (来場者数) H21:70,000人(くもり、晴) H22:70,000人(晴、晴) H23:58,000人(雨、小雨) H24:50,000人(晴、晴) H25:30,000人(雨、大雨)</p> <p>全国農林水産祭 東京都内の会場において、各都道府県等が農畜産物の展示即売等を行う。(来場者数の増減:開催場所や天候に左右) (来場者数) H21:42,000人 H22:46,000人 H23:46,000人 H24:64,000人 H25:31,000人 農業まつり実行委員会構成団体 山梨県農業会議、山梨県農業協同組合中央会、山梨県信用農業協同組合連合会、全国農業協同組合連合会山梨県本部、全国共済農業協同組合連合会山梨県本部、山梨県厚生農業協同組合連合会、山梨県農業共済組合連合会ほか17団</p>		
根拠法令等	農業まつり実行委員会会則		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	24年度		25年度		26年度	27年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	
活動指標	功績者表彰数	21(個人・団体)	20(個人・団体)	18(個人・団体)	20(個人・団体)	20(個人・団体)	目標設定の考え方 過去の実績及びふるさと特産品フェアにおける農業まつり占有部分に基づいて設定 データの出典等 農業まつり実行委員会総会資料
	式典開催	1回	1回	1回	1回	1回	
	まつりの広場 出展団体数	34団体	34団体	34団体	35団体	35団体	
	農業者のつどい 実施回数	10回	10回	10回	10回	10回	
活動指標達成率(実績値/目標値)			%				
成果指標	成果指標達成率			%			
	成果指標						
決算額又は予算額(千円)	2,110		2,110		2,110	2,110	成果指標によらない成果 農水産業功績者表彰は農業者の功績を讃えると同時に、地域農業者の模範として、担い手育成にも大きく寄与している。 まつりの広場では、各種団体が農業のPRや啓発、特産物の販売を行うことにより、農業・農村の重要性や県産農産物の消費拡大等への県民の理解が深まっている。 農業者のつどいでは、農業関係者との交流や品評会等を実施することにより、農業についての理解が深まり、農業技術の向上につながっている。
うち一財額	1,235		1,235		1,235	1,235	
所要時間(直接分)	430 時間		430 時間		430 時間	520 時間	
所要時間(間接分)	時間		時間		時間	時間	
所要時間計	430 時間		430 時間		430 時間	520 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	882		882		882	1,066	

これまでの事業の見直し・改善状況

まつりの広場は平成4年度から、集客拡大や啓発効果を高めるため、庁内他3つのイベントを合わせて「ふるさと特産品フェア」として共同開催している。
平成17、18年度に補助金から負担金に変更し、事業統合、経費削減を行った。

活動量と成果の判断(平成25年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H25年度活動指標の達成率	b	<p>農水産業功績者表彰については、14の部門毎に農政部各課及びJAやまなし中央会からの推薦に基づき、選考委員会の審査を経て決定され、毎年20名程度の表彰を行っている。功績者表彰数はほぼ目標値を達成しており、式典開催も毎年実施し、目標値を達成している。</p> <p>まつりの広場への出展は、本県の農業に対する理解と良質な農畜水産物への理解を深め、生産者と消費者の対話の場として、関係団体の協力を得て実施しており、出展者数は目標値を達成している。</p> <p>農業者のつどいは、農業まつりの趣旨に基づき、農業まつり実行委員会構成団体が、農業者の技術向上、農村地域の交流促進、消費者の農業・農村への理解促進等を目的に各種共進会、品評会、交流イベント等を開催している。開催回数は目標値を達成している。</p> <p>以上のことから、予定どおりの活動量がある。</p>

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H25年度成果指標の達成率	b	<p>農水産業功績者表彰については、農業者の功績を讃えると同時に、地域農業者の模範として、担い手育成にも大きく寄与している。</p> <p>まつりの広場については、各種団体が農業のPRや啓発、特産物の販売を行うことにより、農業・農村の重要性や県産農産物の消費拡大等への県民の理解が深まっている。特に、耕作放棄地の解消や地域住民活動の活性化などを目的とした「菜の花プロジェクト」を実施している参加団体は、認知度が上昇し、活動の場は県内各地に広がっている。また、県内の地産地消推進運動の趣旨に賛同し、その活動を実践する生産者、流通業者、消費者を「食のやまなし地産地消サポーター」として登録しているが、年々登録者数が増加している。さらに、県内の農産物直売所での販売額の増加につながっている。</p> <p>農業者のつどいについては、農業関係者との交流や品評会等を実施することにより、農業についての理解を深め、農業技術の向上につながっている。</p> <p>以上のことから、意図した成果を上げている。</p>

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成27年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
無	<p>本事業は、秋の収穫期に合わせ本県農業を県民に理解いただく重要な機会となっており、本県産農畜水産物の消費拡大と農業・農村の活性化を図るために必要な事業である。</p> <p>平成4年度より開催時期が同様な庁内の他3つのイベントを合わせて「ふるさと特産品フェア」として共同開催し、集客拡大や啓発効果を高めるとともに、最近では、事業関与の見直しにより補助から費用負担へと移行し、全国農林水産祭と協調を図り経費削減などの見直しを図ってきている。</p> <p>このように農業まつりの運営は、国実施の全国農林水産祭や庁内の他のイベント予算と協調して実施していることから、現行どおり実施していくこととする。</p>	

・「以外の判断項目」の欄
 a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
 i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成27年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
予算要求時に記入 予算編成後に修正等	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
 ・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

自主点検シート(事業の内容及び所要時間)に関する附属資料

様式 2

所属名: 農政総務課

細事業名: 山梨県農業まつり実施費等負担金

調書番号: 15

事業の内容を細分化した業務名	具体的な業務プロセス(手順)	業務の時期(フロー)	H25 所要時間 (h)	H26 所要時間 (h) A	H27 所要時間 (h) B	縮減等 B - A	具体的な業務の見直しの内容	見直しに至った理由等 (又は見直しなしの理由等)
1 山梨県農業まつり実行委員会に負担金を交付	実施事業担当案作成 課内説明・調整	6月	20	20	25	5	なし	関係機関との調整や事業内容の確認を行うための実務であり、適正な時間で処理しているため。
	実施事業案 部内説明・調整	6月	15	15	20	5	なし	
	農業まつり会員等へ照会・連絡調整	6,7月	5	5	5	0	なし	
	負担金を交付	8月	3	3	3	0	なし	
(小計)			43	43	53	10		
2 実行委員会「農業の日」街頭啓発、甲州ぶどうの贈呈	総会の開催 (連絡調整含む)	7月	20	20	20	0	なし	関係機関との調整や事業内容の確認を行うための実務であり、適正な時間で処理しているため。
	街頭啓発 連絡調整・資料作成等、事務作業	7~10月	15	15	15	0	なし	
	甲州ぶどうの贈呈 連絡調整・資料作成等、事務作業	7~10月	15	15	15	0	なし	
	街頭啓発 (甲府駅)	10月	4	4	4	0	なし	
	甲州ぶどうの贈呈 (あけぼの医療福祉センター)	10月	6	6	6	0	なし	
(小計)			60	60	60	0		
3 実行委員会「山梨県農業まつり」式典、まつりの広場	まつりの広場 担当者会議	6,9,10月	10	10	30	20	なし	関係機関との調整や事業内容の確認を行うための実務であり、適正な時間で処理しているため。 H27はふるさと特産品フェア総括担当(4年に1回で当番、H23:農政部、H24:観光部、H25:森林環境部、H26:産業労働部)
	まつりの広場 出展計画照会・とりまとめ・連絡調整	7~10月	30	30	30	0	なし	
	山梨県農業まつり 会計・事務作業	7~3月	60	60	60	0	なし	
	式典 表彰者選考調整	7~10月	50	50	50	0	なし	
	式典 会場運営に係る 連絡調整	8,9月	20	20	20	0	なし	
	まつりの広場 総括との連絡調整・資料作成	8~10月	10	10	35	25	なし	
	まつりの広場 会場設営に係る 連絡・調整・打合	10月	15	15	30	15	なし	
	式典 (JA会館)	10月	15	15	15	0	なし	
まつりの広場 (小瀬スポーツ公	10月	40	40	60	20	なし		
(小計)			250	250	330	80		
4 実行委員会「全国農林水産祭」実りのフェスティバル	担当者会議	7,10月	10	10	10	0	なし	関係機関との調整や事業内容の確認を行うための実務であり、適正な時間で処理しているため。
	出展のための連絡調整・事務作業	7~11月	30	30	30	0	なし	
	実りのフェスティバル	11月	30	30	30	0	なし	
(小計)			70	70	70	0		

自主点検シート(事業の内容及び所要時間)に関する附属資料

様式 2

所属名: 農政総務課

細事業名: 山梨県農業まつり実施費等負担金

調書番号: 15

事業の内容を 細分化した 業務名	具体的な業務 プロセス(手順)	業務の 時期 (フロー)	H25 所要 時間 (h)	H26 所要 時間 (h) A	H27 所要 時間 (h) B	縮減等 B - A	具体的業務の 見直しの内容	見直しに至った理由等 (又は見直しなしの理由等)
5 山梨県農業まつり実績報告作成	実績報告書の作成	11月	5	5	5	0	なし	事業実施状況を確認する作業であり、適正な時間で処理しているため。
	報告書の回覧	11月	2	2	2	0	なし	
(小計)			7	7	7	0		
所要時間 (計)			430	430	520	90		

(留意事項)

- 1 事業を細分化した業務名は、事務事業を構成する業務ごとに細分化し、その業務名を記載すること。
- 2 具体的な業務プロセス(手順)は、できる限り多くのプロセスを記載すること。
- 3 業務の時期は、業務のフローがわかるように具体的な業務プロセスごとに記載すること。(毎月、四半期ごとの業務等は、その1サイクルの期間を記載すること。)
- 4 各年度の所要時間(計)は、事務事業自主点検シートの「事業の目標、実施状況等」の「所要時間計」と一致すること。
- 5 具体的業務の見直しの内容は、わかりやすく簡潔に記載すること。(県民から見て分かりやすい表現とすること。)なお、見直しがない場合は、「なし」と記載すること。
- 6 見直しに至った理由または見直しなしの理由は、詳細に記載すること。(具体的な業務プロセスごと、または細分化した業務ごとに記載すること。)
- 7 適宜、業務内容に合わせ、行を加除して記載すること。(複数ページ可)